

# 医見拜聴

## 医療制度改革に思う

衆議院議員 藪浦 健太郎

急速な少子高齢化が進み、厳しい財政状況が続く中、これまでの社会保障制度の前提が少しずつ崩れているとの指摘がされています。

このような環境と諸条件の変化にすばやく対応し、我が国の社会保障制度を将来にわたって持続可能な安定したものにするため、改革を行っていく必要があると考えます。

昨年は年金制度と介護保険制度の改革を行い、引き続き今年には医療制度改革が予定されています。医療制度は、昨年12月に政府与党医療改革協議会が取りまとめた「医療制度改革大綱」に沿って、医療保険制度体系の見直し等、構造改革に積極的に取り組んでまいります。

改革にあたっては、関係者の皆様のご意見を十分にうかがいながら、世界に類を見ない「国民皆保険制度」の堅持を目指すつもりです。

私事ですが、昨年11月、初めての入院手術を経験しました。自らが患者という立場になって痛感したのは、まず第一に、健康に暮らせる、働けるのが何より幸せだということでした。新聞社に入社後、千葉支局、市川通信部を経て本社政治部記者として、夜討ち朝駆け“の不規則な生活が続き、さらに衆議院

選に立候補した後のハードなスケジュールが病気の引き金になったのだと思います。当選させていただいた直後の入院・手術だったため、多くの方々にご心配とご迷惑をおかけしてしまいました。幸い、術後経過は良好で、現在開催中の通常国会に臨めるのも、医療スタッフの皆様のお陰と、あらためて感謝しています。

患者として痛感した第二点目は、医療提供者との信頼関係が大事だということです。患者は、いうならば医療提供者に「命を預ける」わけです。したがって、単なる信頼関係というよりは、厳粛で崇高な信頼関係といっても過言ではありません。そのためにも、患者本位の医療の実現と、安全で質の高い医療の提供が不可欠だと思えます。

特に千葉県は、地理的に都心から離れた地域を抱えており、ここでは「かかりつけ医制度」の有効的な活用など、地域医療への積極的な取り組みが重要です。また、地域で安心して暮らすために、いつでも、どこでも、高度な医療が受けられることが求められています。こうしたことから、重症、重篤な患者さんを受け入れられる「高度救急医療」の充実や「小児救急医療体制」の構築が急務であると考えております。

## 千葉県医師会健康宣言

# みんなが高めるいのちの価値

千葉県医師会は、こんな活動を推進しています。

### 地域連携

地域に開かれた医師会として、患者さんの団体やボランティア団体、行政との連携をさらに深めます。

### 情報公開

患者さんと医師との一体感を強める情報開示につとめ、IT時代にふさわしい医師会をめざします。

### 新世紀の医療へ

高齢化社会に対応した新しい健康価値観の創出、環境や生態系との関わりを考慮した医療を追求します。